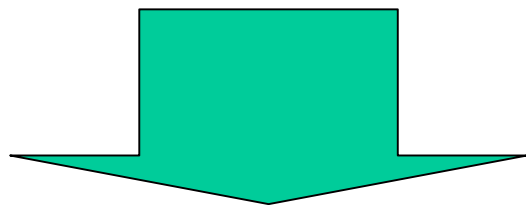


実用化により期待されるCO₂削減効果

大型トラックが、50基の給電スタンド(100台の車両に電力を供給可能)を、実証試験並みの利用率30%程度で利用したと仮定すると・・・



年間1,000トン程度のCO₂削減効果が得られる

一般家庭約180世帯が一年間に排出するCO₂排出量に相当

<試算根拠>

- ※ 「電気スタンド」の平均利用率30%は、1日に約7時間「外部電源式冷暖房システム」が利用されたことに相当
- ※ 軽油のCO₂排出係数=2.62 [kg-CO₂/L] (環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」ver.1.2:平成19年2月公表より)
- ※ 大型トラックの燃料消費量=1.56L/h (代表的な数値として環境省HPより引用)
- ※ 消費電力量は、実証試験期間中の電力消費量の平均値=0.22kWh(電力消費量/接続時間)
- ※ 東京電力のCO₂排出係数=0.368 [kg-CO₂/kWh] (環境省「排出量算定・報告・公表制度」に用いる東京電力のCO₂排出係数(平成17年度実績))
- ※ 一般家庭一世帯あたりの年間のCO₂排出量(2005年度):5.5t
(国立環境研究所 地球環境研究センター温室効果ガスインベントリオフィス「温室効果ガス排出量・吸気量データベース」より)